

## 有機農業の取組事例（常陸太田市：小林氏）

### 「環境にやさしい農業」への取組（常陸太田市 金砂郷地区：小林氏）

- ◆ 経緯等
  - ・ 2001年 会社を退職、本格的に農業へ（退職前：親の手伝い等）
  - ・ 2002年 茨城合鴨水稻会へ入会
  - ・ 2011年 有機JAS認証（東京：アフアス認証センター）\*研修受講
- ◆ 栽培面積（主なもの）：約7ha  
（水田：約4ha, 畑：約3ha）
  - うち、有機JAS認証面積：約50a（水田のみ）
  - 特別栽培取組面積：約90a（水田のみ）



道の駅、地元スーパー等で販売

### 「茨城県有機農業公開圃場技術検討会」における講師

県北農林事務所で、アイガモ農法による水稻の有機栽培に関する技術検討会及び圃場見学会を開催（平成28年：常陸太田市 芦間町）

- ◆ 講師：小林 文夫氏（参加者：農業者、市町村、農協等）  
テーマ「有機栽培のポイントと販売先の確保」



- アイガモ農法 ～小林氏からの説明(概要)～
  - ・ アイガモとは、家禽のアヒルとマガモを交配したものです。
  - ・ 水田に、アイガモの雛を放すことにより、アイガモが雑草や害虫を食べるため、無農薬と無化学肥料での水稻栽培を可能にした「環境にやさしい農業」への取組のひとつです。
  - ・ 有機JAS認証を受けた圃場でつくられ、農薬等を使わない安全で安心なお米として、道の駅などで、消費者の方からも評価されています。



近年、安全・安心な食品や健康的な生活を希求する消費者の声が高まりを見せており、農業が今後とも持続的に発展していくためには、消費者の要望に応えながら、環境と調和のとれた生産活動を行っていくことが求められている。



県北農林事務所では、有機農業者の方に講師になって頂いて、「有機農業の魅力」や「有機栽培に関する技術」等の話を踏まえた研修会を開催し、情報交換等を通して、有機農業実践者の生産技術の向上と、有機農業に興味を持つ農業者の育成を図っています。